



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東
 コード番号 2907 URL <https://www.ahjikan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 足利 直純
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 森屋敷 登 TEL 082-277-7010
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,249	5.8	582	136.9	966	30.9	657	34.2
2023年3月期第2四半期	22,912	5.7	245	684.5	738	479.9	490	651.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 890百万円 (19.7%) 2023年3月期第2四半期 743百万円 (325.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	86.43	—
2023年3月期第2四半期	64.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	27,781	14,926	53.7	1,961.13
2023年3月期	25,102	14,157	56.4	1,860.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,926百万円 2023年3月期 14,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 1円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	5.4	950	967.1	1,350	189.5	950	254.5	124.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,700,000株	2023年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	89,053株	2023年3月期	89,053株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,610,947株	2023年3月期2Q	7,610,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善する中、停滞していた景気の緩やかな回復が期待される状況となりました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や円安進行による物価上昇に加え、金融資本市場の変動、世界的な金融引き締めや中国経済の先行き懸念などによる景気回復の下振れリスクも頭頭しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、資源価格の高騰や円安進行によって仕入価格や諸経費が高騰しており、厳しい経営環境で推移いたしました。また、前連結会計年度において、過去に類を見ない規模の鳥インフルエンザが発生したことに伴い、鶏卵価格が高値で推移した結果、鶏卵を扱う企業にとっては非常に厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、『需要創造型食品メーカーへの挑戦』および『利益構造改革と経営品質の向上』をテーマとした第12次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、第一に「利益構造改善への取り組み」、第二に「業務用食品事業の成長拡大」、第三に「ヘルスフード事業・海外事業の拡大および新規事業構想の立案」、第四に「経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、24,249百万円（前年同四半期比5.8%増加）となり、前年同四半期実績を上回ることができました。一方、利益面につきましては、売上高の拡大効果、徹底的な諸経費抑制に加え、原材料価格高騰に伴う棚卸資産の増加などにより、営業利益は582百万円（前年同四半期比136.9%増加）となりました。経常利益は、デリバティブの時価評価益や為替差益などにより966百万円（前年同四半期比30.9%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は657百万円（前年同四半期比34.2%増加）となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①業務用食品等

販売面におきましては、鶏卵価格の高騰に加え、鶏卵原料の供給制限に伴う玉子製品の販売抑制などの影響もありましたが、玉子製品や海外調達品などの販売価格見直しに加え、野菜加工品、自社企画ブランド品・仕入商品の需要が拡大し、国内売上高は前年同四半期実績を上回る結果となりました。他方、海外輸出売上高につきましても、玉子製品の販売抑制による影響や、中国における水産加工品の輸入停止措置の影響はありましたが、販売価格見直しに加え、北米、オセアニア、香港、シンガポールを中心に需要が拡大し、前年同四半期実績を上回る結果となりました。

生産面におきましては、生産効率の向上や、供給制限に合わせた加工費のコントロールなどにより、製造原価率の抑制に努めましたが、供給制限による生産稼働率への影響や、鶏卵を始めとした主要原材料価格の高止まり、原油高に伴うエネルギーコストの高騰などにより、製造原価率は前年同四半期に比べ上昇いたしました。

販売費につきましては、物流コストの低減や、その他経費執行の抑制などに努めた結果、前年同四半期以下にとどめることができました。

これらの結果、外部顧客への売上高は22,385百万円（前年同四半期比7.1%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は1,182百万円（前年同四半期比71.9%増加）となりました。

②ヘルスフード

販売面におきましては、通信販売は、テレビCMなどの広告宣伝効率が低下したことや、物価上昇による嗜好品の買い控えなど外部要因も加わり、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。他方、ドラッグストアなどでの市販品につきましては、機能性表示食品「焙煎ごぼう茶キレイブレンド」、「焙煎ごぼうサプリ エラスチン+」など新製品の投入効果はみられたものの、健康茶市場の需要に一服感がみられたこともあり、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。なお、2023年9月には通信販売の顧客満足度向上を目的として、福岡市にカスタマーセンターを増設いたしました。

開発面におきましては、焙煎ごぼうを主原料としたチョコレート風の食品素材（メルバード）を開発し、クラウドファンディングサイト「Makuake（マクアケ）」において2023年11月より開始予定の先行販売に向け、準備を進めております。

生産面におきましては、主要原材料であるごぼうが高値で推移したことや、エネルギーコストの高騰などにより、製造原価率は上昇いたしました。

販売費につきましては、減収に伴う変動費の減少はありましたが、カスタマーセンターの増設に伴う諸経費の増加などもあり、前年同四半期並みとなりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は1,627百万円（前年同四半期比6.5%減少）となり、セグメント利益（営業利益）は178百万円（前年同四半期比46.1%減少）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,678百万円増加し27,781百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,336百万円増加し14,967百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加1,544百万円、商品及び製品の増加428百万円、その他に含まれる為替予約の増加218百万円、原材料及び貯蔵品の増加168百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ342百万円増加し12,813百万円となりました。これは、減価償却の進行を上回る取得による有形・無形固定資産の増加に加え、投資その他の資産において投資有価証券や、その他に含まれる関係会社出資金が増加したためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,909百万円増加し12,855百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,666百万円増加し11,403百万円となりました。主な増加要因は、短期借入金金の増加700百万円、未払法人税等の増加347百万円、買掛金の増加235百万円、その他に含まれる未払金の増加204百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ243百万円増加し1,451百万円となりました。主な増減要因は、政策的な借入による長期借入金の増加316百万円、リース債務の減少38百万円などです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ1,080百万円増加し6,352百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ768百万円増加し14,926百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加657百万円、その他有価証券評価差額金の増加115百万円、為替換算調整勘定の増加104百万円、剰余金の配当による減少121百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント減少し53.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し2,009百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は554百万円（前年同四半期は492百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益968百万円や、減価償却費526百万円などの資金獲得要因もありましたが、売上債権・棚卸資産・仕入債務を合計した運転資本面での使用1,917百万円や、その他に含まれる為替予約の増加額218百万円などが主な内容となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は379百万円（前年同四半期比138.5%増加）となりました。これは、生産管理システムの再構築、生産設備の増強投資・メンテナンス投資などが主な内容となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は876百万円（前年同四半期は263百万円の使用）となりました。これは、短期・長期借入金の借入による収入1,080百万円（純額）、配当金の支払額120百万円、リース債務の返済による支出67百万円などが主な内容となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は、売上高につきましては、主要原材料である鶏卵の供給制限もありましたが、前回予想を若干上回る見込みとなりました。一方、利益面につきましては、鶏卵価格が想定以上に高値で推移していることや、円安などによる原価上昇要因はありましたが、製商品の価格改定が浸透したことや、諸経費の抑制などにより、営業利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

また、想定以上に円安が進行したことで、為替予約の時価評価益や、決済差益が拡大したことにより、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、冬場の原材料価格、為替・株価、原油価格など、先行き不透明で流動的な要素も多くありますが、当第2四半期連結累計期間までの状況を勘案し、前回予想を修正しております。

詳細につきましては、2023年11月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,110,994	2,089,483
受取手形及び売掛金	5,791,190	7,335,673
商品及び製品	2,750,785	3,179,526
仕掛品	50,097	94,274
原材料及び貯蔵品	1,456,009	1,624,953
その他	490,200	665,311
貸倒引当金	△17,895	△21,602
流動資産合計	12,631,382	14,967,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,613,057	3,595,806
機械装置及び運搬具(純額)	1,768,561	1,724,097
土地	3,821,460	3,923,580
リース資産(純額)	291,534	262,065
その他(純額)	517,857	582,972
有形固定資産合計	10,012,471	10,088,522
無形固定資産		
ソフトウェア	420,467	432,862
ソフトウェア仮勘定	134,905	185,448
リース資産	32,294	24,172
のれん	16,454	8,227
その他	3,356	3,511
無形固定資産合計	607,478	654,221
投資その他の資産		
投資有価証券	646,601	810,256
長期前払費用	1,879	1,375
繰延税金資産	64,343	29,776
退職給付に係る資産	317,224	337,984
その他	869,296	939,957
貸倒引当金	△47,757	△48,387
投資その他の資産合計	1,851,589	2,070,962
固定資産合計	12,471,539	12,813,706
資産合計	25,102,922	27,781,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,206,420	3,441,840
短期借入金	4,030,000	4,730,000
1年内返済予定の長期借入金	438,542	502,560
リース債務	125,417	121,465
未払法人税等	30,433	378,060
賞与引当金	329,100	388,100
役員賞与引当金	—	23,580
契約負債	87,463	72,747
その他	1,489,990	1,745,574
流動負債合計	9,737,367	11,403,927
固定負債		
長期借入金	803,650	1,119,870
長期未払金	96,531	60,672
リース債務	234,353	196,255
資産除去債務	54,076	54,146
退職給付に係る負債	17,843	18,902
繰延税金負債	190	—
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,208,144	1,451,346
負債合計	10,945,512	12,855,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	11,410,608	11,946,679
自己株式	△64,426	△64,426
株主資本合計	13,547,421	14,083,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,838	279,409
繰延ヘッジ損益	△10,847	1,845
為替換算調整勘定	456,996	561,305
その他の包括利益累計額合計	609,987	842,560
純資産合計	14,157,409	14,926,053
負債純資産合計	25,102,922	27,781,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	22,912,021	24,249,702
売上原価	17,373,625	18,390,539
売上総利益	5,538,395	5,859,162
販売費及び一般管理費	5,292,610	5,276,853
営業利益	245,785	582,308
営業外収益		
受取利息	290	394
受取配当金	10,505	10,532
持分法による投資利益	48,496	51,502
長期為替予約評価益	292,759	200,295
保険返戻金	8,000	—
為替差益	137,998	130,115
その他	15,621	17,220
営業外収益合計	513,671	410,061
営業外費用		
支払利息	15,551	15,702
その他	5,903	10,326
営業外費用合計	21,454	26,029
経常利益	738,002	966,341
特別利益		
固定資産売却益	2,449	2,788
特別利益合計	2,449	2,788
特別損失		
固定資産除却損	359	514
投資有価証券売却損	1,960	—
特別損失合計	2,320	514
税金等調整前四半期純利益	738,132	968,615
法人税、住民税及び事業税	246,128	329,968
法人税等調整額	1,711	△19,199
法人税等合計	247,840	310,768
四半期純利益	490,291	657,846
親会社株主に帰属する四半期純利益	490,291	657,846

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	490,291	657,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,256	115,570
繰延ヘッジ損益	7,054	12,693
為替換算調整勘定	187,161	78,205
持分法適用会社に対する持分相当額	47,216	26,103
その他の包括利益合計	253,689	232,572
四半期包括利益	743,981	890,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743,981	890,418
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	738,132	968,615
減価償却費	524,398	526,739
のれん償却額	8,227	8,227
賞与引当金の増減額 (△は減少)	51,000	59,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	27,438	23,580
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△7,460	—
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,007	△14,716
長期末払金の増減額 (△は減少)	—	△35,858
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23,322	△19,700
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,223	4,337
持分法による投資損益 (△は益)	△48,496	△51,502
受取利息及び受取配当金	△10,796	△10,927
支払利息	15,551	15,702
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,960	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,449	△2,788
有形固定資産除却損	359	514
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,694	△1,538,594
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△811,329	△609,042
仕入債務の増減額 (△は減少)	713,881	230,310
未収入金の増減額 (△は増加)	47,709	110,190
未払金の増減額 (△は減少)	△73,826	82,450
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47,243	67,985
その他	△451,007	△373,667
小計	622,287	△559,145
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△130,067	5,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,220	△554,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	—
投資有価証券の売却による収入	2,368	—
有形固定資産の売却による収入	17,576	2,788
有形固定資産の取得による支出	△225,679	△392,775
無形固定資産の取得による支出	△52,586	△99,502
利息及び配当金の受取額	89,639	111,859
その他	10,047	△1,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,934	△379,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000	700,000
長期借入れによる収入	800,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△368,284	△269,762
利息の支払額	△14,585	△15,082
リース債務の返済による支出	△66,297	△67,967
配当金の支払額	△114,751	△120,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263,918	876,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	73,545	35,241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142,912	△21,511
現金及び現金同等物の期首残高	1,751,431	2,030,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,894,344	2,009,483

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	20,904,815	1,740,308	22,645,124	266,897	22,912,021	—	22,912,021
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	278,944	278,944	△278,944	—
計	20,904,815	1,740,308	22,645,124	545,841	23,190,965	△278,944	22,912,021
セグメント利益	687,714	331,010	1,018,725	657	1,019,382	△773,596	245,785

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益の調整額△773,596千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△772,705千円及び棚卸資産の調整額△891千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	22,385,023	1,627,592	24,012,615	237,086	24,249,702	—	24,249,702
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	268,566	268,566	△268,566	—
計	22,385,023	1,627,592	24,012,615	505,652	24,518,268	△268,566	24,249,702
セグメント利益 又は損失 (△)	1,182,184	178,580	1,360,764	△25,271	1,335,493	△753,184	582,308

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△753,184千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△716,441千円及び棚卸資産の調整額△36,742千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。